

経済建設常任委員会
視察研修報告

視察日

平成25年11月14日～15日

視察先

群馬県甘楽郡甘楽町

「甘楽ふるさと農園」

「道の駅甘楽」

「道の駅甘楽」

・猿島郡五霞町

「道の駅ごか」

視察目的

・農業活性化対策及び情報発信拠点整備等の取り組みについて

視察内容

甘楽町は、群馬県の南西部に位置し、人口約1万4,000人。南部の山間地、中央部の丘陵地、そして北部の平坦地と変化に富んでいる。

甘楽ふるさと農園は、平成12年自然に囲まれた平坦地に開園。休憩棟付農園13区画、グループ農園5区画、

大区画農園47区画、小区画農園50区画が整備されている。この農園の地域別利用者は、東京都が32%と一番多く、県外の合計は42%となっている。県内では、富岡市が21%で、他では近隣市町村の利用が見られた。甘楽ふるさと館は、各種



整備された休憩棟付農園

都市農村交流事業が展開され、自然休暇村協定を締結している東京都北区の宿泊施設もあり、農業農村体験やスポーツ交流を通じ、区民と交流を深めている。

道の駅甘楽は、昭和60年に農産物直売施設として開場し、平成23年に道の駅として国土交通省に登録された。昭和58年からイタリア



甘楽町の取り組みを研修

のチエルタルド市と交流し、日本でここだけでしか買えないイタリアワイン、オリーブオイルを置いている。

次に五霞町は、茨城県の西南端に位置し、人口約9,300人で、四方を川で囲まれ、町内のほぼ中央を新4号国道が縦断している。

道の駅ごかは、平成17年に開場し、「茨城県の西の玄関口」に位置する地の利を生かし、地元農産物や県内物産（うまいもんどころ）などの販売・PR、各種イベントの開催、情報発信・交流拠点としている。利用者は、埼玉県春日部市、

越谷市方面の方が多く、平成25年7月にリニューアルを記念し、ポイントカードを導入。発券数は1万枚を突破した。平成24年度の実績は、利用者数約84万4,000人、売上額約8億7,500万円とすばらしい経営となっている。今後、新4号国道の複線化、圏央道五霞ICの供用に伴うさらなる需要増への対応とIC周辺開発による新たな土地利用との効果的な連携が期待されている。

両町とも、多くの人がこの場所にどうしたら来てくれるのか知恵を絞っていた。また、そこで働いている人の意識の高さ、やる気を感じられ、行政側もそれに対応していた。本村でも、大谷地区地区計画推進協議会が立ち上げられ、その中に物産館建設の構想がある。今回の視察を参考に、多くの人が集まり特長のある施設でなければいけないと痛感した。